

温暖化が私たちの暮らしを変えてしまいう前に

地球温暖化が私たちの地球に大きな影響を及ぼしています。温暖化は異常気象などを引き起こしていると考えられ、進行を抑えなければ、近い将来私たちのこれまでの暮らしは一変してしまいます。いま、温暖化という地球規模の現象解決に向け、世界中の人々が一丸となり取り組んでいくことが求められています。このような中、私たち一人ひとりにも、さまざまな行動を起こすことができます。



▲温暖化進行の進行により予測されている将来的な影響
[左上]猛暑日の増加(tenki.jp)、[左下]雨の激しさが増して[右上]豪雨などによる水害が増加、
[右下]海面が7m上昇した場合の福岡市の状況予測図(Flood Maps)

地球は確実に暑くなっている

夏になると、ニュースで「猛暑日」という言葉をよく聞くのではないのでしょうか。猛暑日とは1日の最高気温が35度以上の日のことです。地球温暖化の進行に伴って平均気温が上昇し、猛暑日数は年々増加を続けています。

天気予報用語として猛暑日が定められたのは、2007年と意外と最近です。昔はそこまで気温が高くなりませんでした。35度以上という普通ではなかったことが頻繁に起こるようになり、予報用語に追加されたのです。

昨年も日本では記録的な高温となりました。特に北日本では暑さが厳しく、北海道ではなんと7月・8月の最高気温がどちらも(7月38.4度、



8月38.7度に更新されるほどで、猛暑日も例年に比べ多い年でした。私たちの住む福津市周辺の気温も上昇しています。1977年に統計を取り始めてから2021年までの45年間のうち、平均気温や最高気温を高い順に並べると、上位10位以内のほとんどが2010年以降であることが分かります。

将来、住む場所がなくなってしまう?

温暖化が進行すれば、それが原因で近い将来気候がさらに大きく変化する可能性があります。その結果、人間を含む地球上の生物が生命の危機を迎えることになるかもしれません。

変化① 急激な気温の上昇

最悪の場合、地球全体の気温が2100年までに5度近く上昇し、本来の生息域で生きていけず絶滅する生物も出てきます。福岡県でも平均気温が約4度上昇すると予測され、熱中症などのリスクが高まります。

変化② 海水面の上昇

陸地の氷がとけたり、海水自体の体積が増えることで、2300年までに海面の水位が最大7メートル上昇し、海岸近くで暮らす人に大きな影響が出ます。この予想では、福津市の海岸が広い範囲で海面の下に沈み、陸地が島となってしまふ場所もあります。現在の市の形とは全く違うものになってしまうでしょう。

変化③ 大雨・大雪が増える

大気が温まると大気中の水蒸気量が増え、雨や雪の量と強さが増します。そし

て土砂崩れや洪水などの災害を引き起こします。実際に雨や雪の降り方は激しくなっていて、福岡県でも近年強雨や大雨が頻発して甚大な被害をもたらしています。今後も激しい雨がさらに頻繁に降ると見られているのです。

一人でも、個人でも、行動することはできる

この現状に対し、国際社会が将来の温暖化を抑制するために協力することを決め、現在世界中の国々や地域、企業、市民などが団結して取り組んでいます。

では私たち個人にできることはあるのでしょうか。温暖化の大きな原因の一つである二酸化炭素を削減するために、

- ① 家や職場でこまめな消灯、空調や給湯の温度を調整する
- ② 省エネ製品を使用する
- ③ 自家用車ではなく公共交通機関や自転車、徒歩にて移動する
- ④ ごみを減らすために、使い捨て容器を断り、マイバッグやマイ容器を持つ



▲温暖化防止のために取り組めることはたくさんあります。

(参考) 環境省、気象庁 IPCC 第6次報告書 第1作業部会報告書政策決定者向け要約、ほか